

## 喜んでくれる人の笑顔が 創作のエネルギ―!

わかば第一事業所に通う古城摩弥さんは、小学4年生の頃に手芸クラブへ入ったのをきっかけに、編み物の才能を開花させ、個展を開いたり、表彰を受けたりするなど活躍の場を広げています。「マフラーや帽子をバザーなどで、買ってもらえるという励みになるし、嬉しいです。自分が作ったものが、いろんな人に広がっていくことが、楽しくて面白い」と古城さんは語ります。

作業所では細かい仕事得意で、ネクタイをネックレスに作り変える商品のミシン掛けを担当しています。お祭りでお年寄りの方に「セーターの上に付けるのいいわ」と買っていただいて、評判とすること。

今は好きな色である、赤色のマフラーと帽子を作っている最中とのこと。編み物をしている時の古城さんは生き生きとして、笑顔が印象的でした。

他にも写真を撮ることや料理をすること、パズル誌に挑戦するなど、多趣味で多才な面を持っています。また戦隊モノも好きで、作業所の男性陣とも話が合うそうです。

# life style

このページでは、障がい者の生活の1コマをご紹介します。

